

## 研究集会「海洋・海岸における波動の解析モデルの応用」

九州大学応用力学研究所共同利用研究集会の一つとして、下記のように研究集会を開催します。

本研究集会は、宿泊形式で行ないます。宿泊されなくても、自由に聴講できます。

宿泊を希望される方は、柿沼（taro@oce.kagoshima-u.ac.jp）宛て御連絡いただきますよう、宜しくお願い致します。

### 記

主 催 土木学会海岸工学委員会  
日 時 2017年12月16日（土）13:00～17日（日）12:20  
場 所 九州大学応用力学研究所 多目的交流室（W601）

### プログラム

#### 2017年12月16日（土）

開会挨拶	13:00
柿沼太郎（土木学会海岸工学委員会波動モデル研究小委員会委員長）	
<b>第1セッション－波動のシミュレーション－</b>	
波動モデルによる航走波の造波手法に関する検討	13:10
平山克也（港湾空港技術研究所 海洋研究領域）	
非構造デカルト格子シミュレーターを用いた都市沿岸域への津波伝播解析	13:40
新谷哲也（首都大学東京 都市環境学部）	
休 憩	14:10
<b>第2セッション－波動の解析法－</b>	
SWE-SPH法による海洋波と沿岸構造物の相互作用に関する研究	14:20
陸田秀実（広島大学大学院 工学研究院）	
ストレンジアトラクターの解析的表現－カオスの決定論的描像－	14:50
松岡千博（大阪市立大学大学院 工学研究科）	

休 憩 15:20

**第3セッション –沿岸環境の解析–**

萩市菊が浜における気候変動の影響を考慮した汀線変化 15:30  
白水 元・朝位孝二（山口大学大学院 創成科学研究科）

内湾浅海域における懸濁物質濃度の応答特性に関する研究 16:00  
押川英夫（佐賀大学大学院 工学系研究科）

懇 親 会 19:00

**2017年12月17日（日）**

**第4セッション –非線形長波の解析–**

有明海の共振潮汐の非線形性について 10:00  
田井 明（九州大学工学研究院 環境社会部門）

KdV-Burgers 方程式の格子ボルツマン法による数値計算 10:30  
辻 英一（九州大学 応用力学研究所）

休 憩 11:00

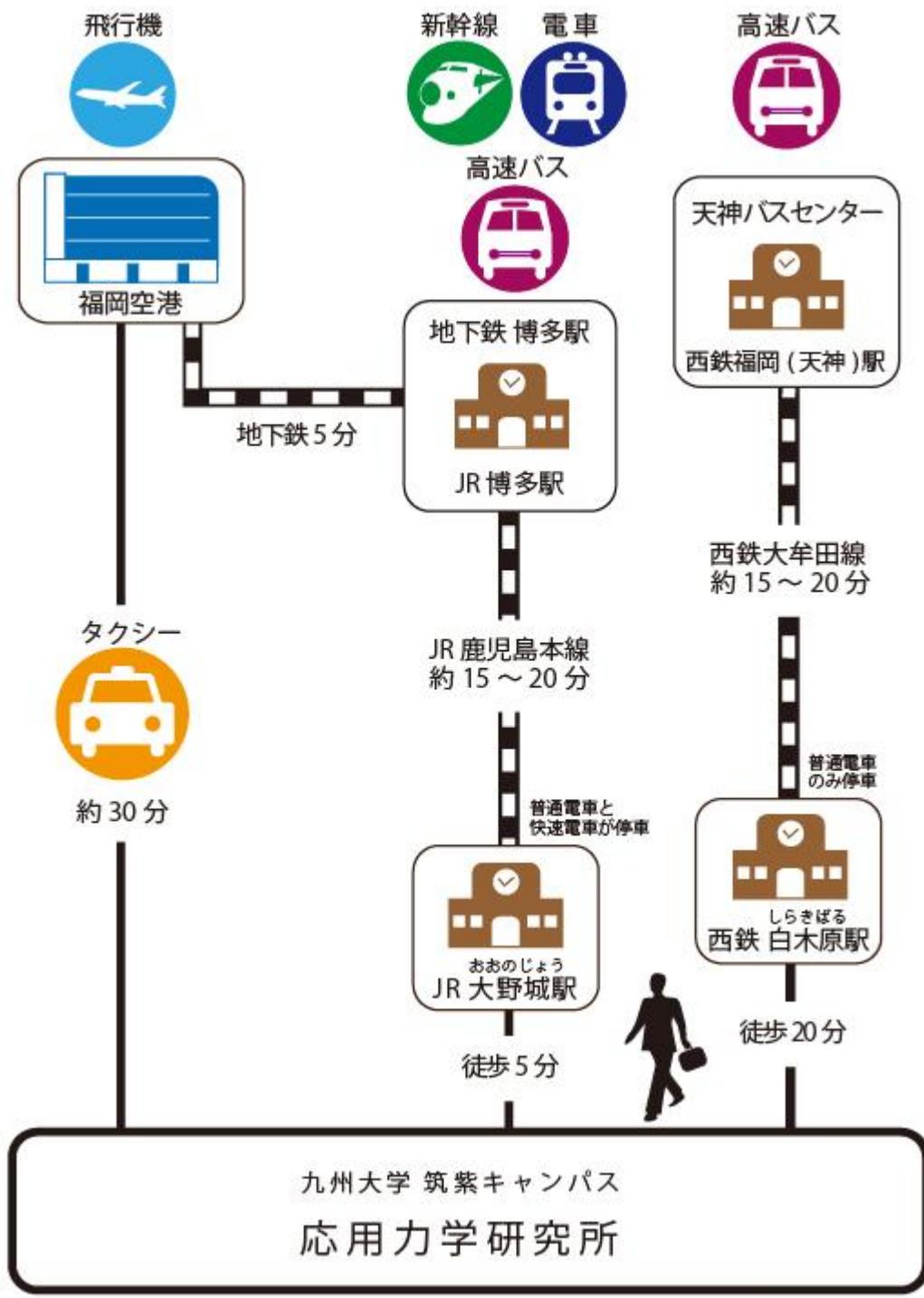
**第5セッション –多層と波動–**

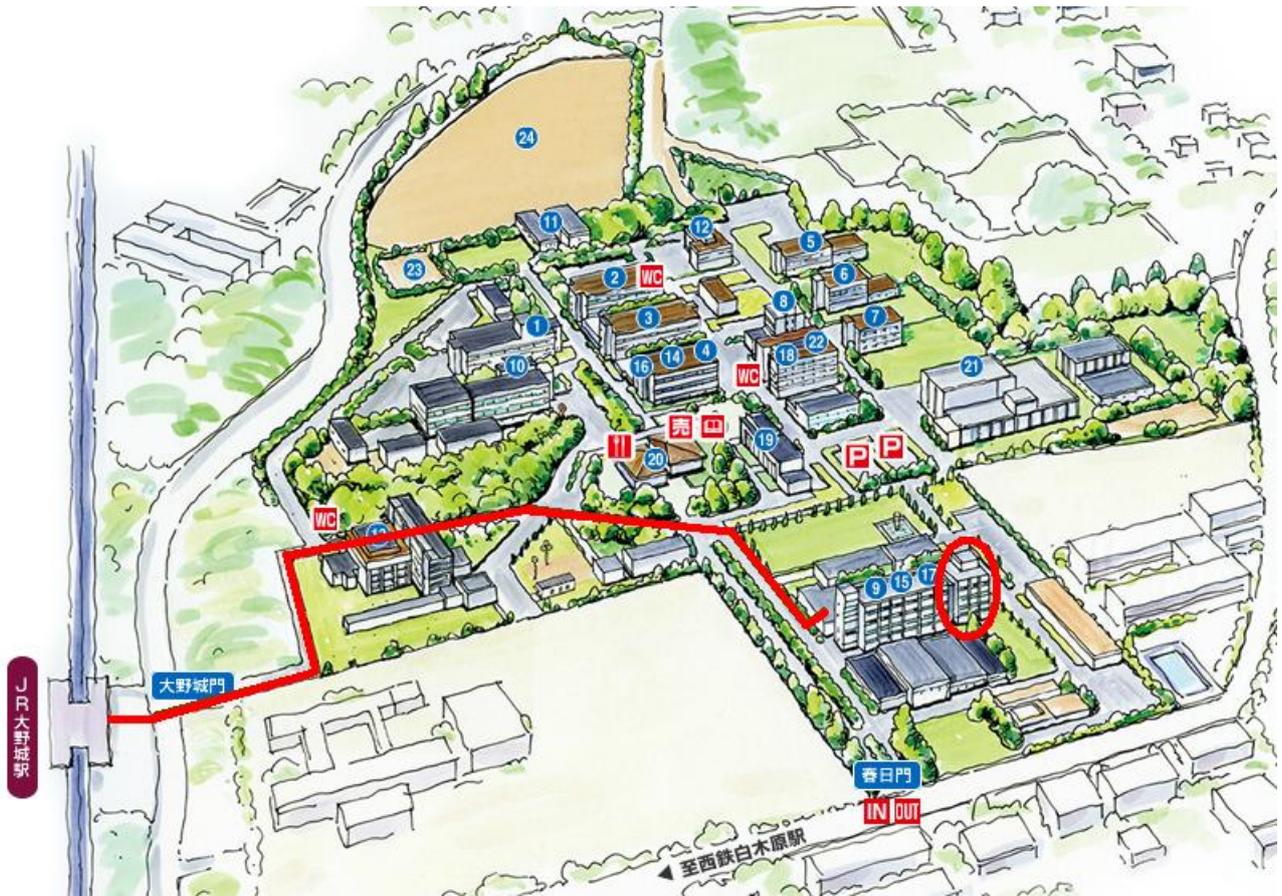
地形上を伝播する内部波の数値解析 11:10  
柿沼太郎（鹿児島大学学術研究院 理工学域）

多層波動方程式の固有モードによるグリーン関数と散乱問題への適用 11:40  
金山 進（日本大学 工学部）

閉会挨拶 12:10  
辻 英一（九州大学応用力学研究所共同利用研究集会世話人）

解 散 12:20





場所は、九州大学筑紫キャンパス（春日市春日公園 6 丁目 1 番地）にある九州大学応用力学研究所の「多目的交流室」（W601）で、上図で丸印を付した建物の 6F にあります。